

全くの新しい技術ではないが

先月10月初旬に25年振りに南洋材のジェルトン原木を製材しました。ジェルトン材は写真で解かる様に木口のワレがきつのが特徴ですが、もう一つ大きな障害があります。

それは白い木に共通します。材にアオ(変色)が非常に入り易いのです。アオが入ると見た目も悪くなるし使い方も限定されます。

一般にはジェルトン材の用途は家具の芯材か、絵を入れる額縁に使用されたりしますが、アオの入っていないジェルトン材は初心者の彫刻材に凄く向いています。

さてこのワレのきついジェルトン原木をどの様に製材したのか説明します。ワレのきつい末の木口から2.2メートルを外します。次にそこからワレの無い4メートル材を二丈取り最後にワレの一番多い元玉を取ります。

ワレの多い 元玉 2.2M	ワレの少ない2番玉 4M	ワレの少ない3番玉 4M	ワレの多い 末玉 2.2M
------------------	-----------------	-----------------	------------------

購入したジェルトン原木は長さ12メートル60センチ直径90センチの特選原木です。



全体の姿



末の木口



元の木口



左の写真は製材したジェルトン材を立てて干しています。3週間掛けて扇風機の風を当てて表面の水分を落します。すると重さは約15%位軽くなります。そしてようやく従来の横に干す方法で乾燥させる方法に移行します。

インドネシア・マレーシアの現地でもこの立て乾燥は採用されています。現地では乾燥期間は厚み1ミリ1日と言われています。16ミリの板なら16日間。34ミリの板なら34日間立て乾燥させれば、大体乾

いているので外国に輸出するのにコンテナ船でもばら積み船でも船の中で材が蒸れないとされる 16%前後に含水率が落ちます。



ワレの少ない4メートル材



ワレを外した2メートル材

ワレの少ない4メートル材の製材サイズは18ミリ・27ミリ・34ミリ・45ミリです。ワレを外した2メートル材は上記の4種類の厚みの板も製材していますが、55ミリ～105ミリの盤も製材しています。厚盤の主な用途は少し手を掛けて立体の彫刻用材にしようと考えています。カツラ・シナ・ホオ等の国産広葉樹より初心者用の彫り易い彫刻材を提供する事で、もっと多くの彫刻したいと思うファン層を作る事に役立てればとも思っています。

何故、製材方法とか乾燥方法に無い頭を絞っているのかを正直に言えば、産地に良質の原木が枯渇してきているからです。この事は現実に国内産広葉樹から北米産針葉樹・南洋材・アフリカ材・アメリカ産広葉樹等々全ての産地に及んでいます。

と言う事はある程度の量が確保出来る状況では無くなる可能性も十二分に考えられるのです。材がある時に売れ行きが悪くとも仕入れをせざるを得いのです。これからは今まで行って来た服部商店の目利きだけでは、やって行けない証拠なのです。

材料を今まで以上に大事にする事が、お客様の希望される要望に答えることです。

立て乾燥だけでは有りません、色んな方法を取り入れて頑張っています。

惚れないと木を買えないが、出来は違う

平成24年度のアラスカ産針葉樹原木(主にスプルース原木)の入荷は第1船が7月に入港しました。そして第2船が10月末に入港しました。2船を見た判断を下記に書きますが、ここからの話は仕入先に聞かれると少し問題を生じる事が考えられますが、真実を知って頂きたいと思ひ書きます。

今年の第1船が入港して原木を見た感じは『今年の最終船(2012年1月末)の産地と違い良くないと言う判断をしました。そして仕入れを見送りました。』でした。そして第2船が入港し順番に原木を卸すのですが、卸す途中で解かるのです。第1船と全く違うのです。目合い・色・外観・新鮮度まだまだ多くの仕入れのファクターは有りますが、小生の30年間アラスカ針葉樹のスプルース原木に携わってきた経験からすると、ここ最近になかった粒ぞろいの良質材なのです。お客様の荷動きが少々悪くても今回纏めて仕入れしなければ、ならないと感じ10本の原木を仕入れしました。

製材した10本の評価と結果を下記に書きます。仕入れ単価の表示も出来の評価も書きにくいので◎・○・●の3つの印で価格及び出来の評価を表示します。◎が一番上の評価です。次に○、そして一番下の評価は●です。

木番号 長さX直径 原木下見の評価・製材終了時の小生の評価です。

NO 1068	440X81	●・●	NO 1100	440X107	◎・●
NO 1116	800X87	○・●	NO 1137	12.40X71	◎・○
NO 1173	440X115	●・◎	NO 1174	440X125	○・◎
NO 1179	440X108	●・◎	NO 1180	440X106	◎・●
NO 1182	440X99	●・◎	NO 1202	620X98	◎・○

原木を仕入れるときは必ず在庫状況はどうなっているのか、お客様の注文はどれだけ有るのか、そして先々の仕入れと売りの予想はどう言う様に推移するのか、等々予測して買い付けをするのですが、最初から良質材の原木を追い駆けるような事が出来ればその方が楽ですが、そうは行かないのが現状です。

今回岸和田に入港したスプルース原木は大よそ3,000M3です。特選原木は全体の5%位の1,500M3だと思います。中間材の少し太目が全体の35%の1,050M3。中間材の少し細目が全体の45%の1,350M3位です。そして細い50センチ下が約15%位の450M3位です。今回仕入れさせて頂いた上記に書いていますNO1068~NO1202は中間材の1,050M3からの10本です。

NO1068



NO1100



NO1116



NO1137



NO1173



NO1174



NO1179

NO1180



NO1182



NO1202



RANUN CULUS号



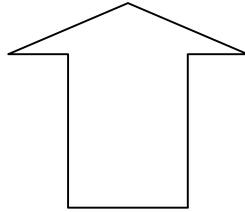
スプルース原木が積まれています。

この記事の最後では有りますが以上10本を商社様に仕入れさせて頂いた事に感謝を述べたいと思います。

10本それぞれの思いを込めて仕入れ、そして鋸を入れて製材しました。正直木は製材してみないと結果は分かりません。自分が良かろうと思って購入した原木の出来がもう少しで、少し外観は落ちると思っていた方が良かったりします。本当に原木とは難しい材料ですが楽しい仕事でも有ると思います。

原木を見分けられるのが本来の材木屋の仕事だと思います。これは未来も変わりません。

F A X 0 7 2 - 4 2 2 - 8 5 7 7



2013年度の北海道産広葉樹銘木市のご案内

- 362 回銘木市 2013年1月25日開催
- 363 回銘木市 2013年2月28日開催
- 364 回銘木市 2013年3月29日開催
- 365 回銘木市 2013年4月26日開催

以上の広葉樹銘木市に興味のある方はご連絡下さい。ご案内をFAXさせていただきます。

1、 興味が有る

はい

いいえ

2、 1の質問ではいの方で、北海道の広葉樹銘木市を案内して欲しい。

はい

いいえ

会社名	
担当者名	
ご住所	
FAX番号	
連絡先電話番号	

(株)服部商店

〒596-0011

大阪府岸和田市木材町 16-1

TEL 072-438-0173

服部雅章